

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人

邑智福祉振興会

目 次

Ⅲ. 障害児入所施設	くるみ邑美園児童部	・・・・・・・・	21
Ⅳ. 障害者支援施設	くるみ邑美園	・・・・・・・・	25
Ⅴ. 障害児通所事業所	放課後デイみんと	・・・・・・・・	35

障害児入所施設 障害者支援施設
Ⅲ くるみ邑美園児童部

1. 利用者状況

H28 4/1	H29 3/31
男子5名 女子2名	男子3名 女子2名

〈石見養護学校在籍〉

高等部	3年	(男子2名)
	2年	(男子1名、女子1名)
中学部	3年	(男子1名)
小学部	6年	(女子1名)
	3年	(男子1名)

〈入退所関係〉

H29. 3 男子2名石見養護学校卒業の為退園

2. 生活支援

一人ひとりの個性やニーズに応じ、発達過程を踏まえて生活支援に取り組んだ。

①計画的な専門援助（個別支援サービス計画）に基づいた支援

- ・発達の段階に応じた個別支援と将来の進路を視野に入れ継続的に支援を行った。

②利用者の精神的安定と環境設定

- ・発達課題上の問題行動や不適応に対して、臨床心理士によるカウンセリング、医療機関、児童相談所等の専門機関への相談や、ケア会議、学校との情報交換等を行い、問題の軽減や解決に努めた。又問題行動後の支援として、本人との振り返りの時間の設定や落ち着かなかった時の環境作りを行った。

③保護者・学校との連携

- ・保護者の気持ちや考えを確認する場を設け支援方法の共有化や将来の生活、進路について意見交換を行う事で支援者と保護者が連携して取り組む事が出来た。普段行っている支援を理解していただく為に居室やリビング等の生活空間をいつでも見学出来るよう体制を整えた。
- ・各学校との会議
石見養護学校…校園連絡会会議、進路相談会、ケース会議への参加、担当教諭との情報交換会

④日課

平日			休日		
時間	日課	内容	時間	日課	内容
6:30	起床 洗面・更衣介助 排泄誘導・支援		7:00	起床 洗面・更衣介助 排泄誘導・支援	
7:40	朝食 手洗・介助・服薬・歯磨		7:45	朝食 手洗・介助・服薬・歯磨 日中一時利用者受け入れ	
8:00 8:35	登校準備 登校		10:00	水分補給 検温 余暇支援	
	一学校一		12:00	排泄誘導・支援 手洗 昼食 余暇支援	
15:00	下校 おやつ		15:00	おやつ	
	余暇、学習、入浴		17:30	排泄支援 入浴	

			日中一時利用者送り出し
18:00	夕食 手洗・介助・ 服薬・歯磨	18:00	夕食 手洗・介助 服薬・歯磨
	余暇支援・ 就寝準備・ 排泄誘導・支援		余暇支援・ 就寝準備・ 排泄誘導・支援
21:00	消灯・就寝 健康観察・ 室温調整	21:00	消灯・就寝 健康観察・ 室温調整

⑤行事、園外活動

- ・行事…親子遠足（11/3） 食事会（2/15）
利用者手作りのポスターを製作し会を盛り上げた
- ・園外活動…金城ウエスタンライディングパーク（7/28）
- ・休日…余暇支援…散歩 買い物支援 クッキング
- ・誕生会…年5回実施

⑥情報公開

- ・児童部新聞「こもれびの発行」
新聞の制作、発行を年2回実施、日常や生活支援の様子を載せ保護者、石見養護学校に配布した。

3. 保健衛生

①健康診断の実施

尿検査	（学校）	H28/4/13	
眼科検査	（学校）	H28/4/19	
歯科検査	（学校）	H28/4/20	
ぎょう虫検査	（学校）	H28/4/20	
心電図検査	（学校）	H28/4/25	中学部 高1
結核検診	（学校）	H28/4/25	高1
耳鼻科検査	（学校）	H28/4/25	
血液検査	（学校）	H28/4/25	
内科検診	前期 H28/4/13	後期 H28/12/19	

②各種結果

内科検診	有所見者なし	歯科検診	4名 治療中
視力検査	1名 眼鏡使用	耳鼻科検診	1名 治療中
X線検査	有所見者なし	ぎょう虫検査	有所見者なし
尿検査	有所権者なし		

③定期受診

こころの医療センター	整肢学園	大隅病院	その他
1	1	2	2

④不定期受診

発熱、怪我、皮膚疾患等症状に応じて受診を行った。

⑤感染症対策

インフルエンザ ノロウイルス など日頃から関心を持ち、次亜塩素酸水等の散布、消毒、加湿を行った。2名のインフルエンザ発症があったが速やかに個室対応を行い感染拡大を防ぐ事が出来た。

4. 栄養管理

※平均栄養摂取量 H28.4～H29.3

エネルギー	2,214Kcal	鉄	12.6mg
たんぱく質	82.3g	レチノール当量	824g
脂質	59.5mg	ビタミンB1	1.28mg
炭水化物	330.5g	ビタミンB2	1.30mg
カルシウム	790mg	ビタミンC	137mg
食物繊維	17.9g		

- 主食…250g 150g
副食…中盛り 小盛り
児童（6歳～13歳未満）についてはローレル指数、生徒（13歳～13歳未満）についてBMI値を算出し、健康診断の結果と合わせて成長期の生徒はお代わり対応した。
- 代替え食の対応
苦手な食材（食パン、コッペパン、スープ、炊き込みご飯、混ぜご飯）やアレルギー（穴子）のある場合献立を変更し調理方法を工夫し提供した。カレーはご飯、ルーを別にし提供した。
- 自助食器の利用
自助食器、両手マグカップ、マグカップ、スプーン、先割れスプーン、フォーク等提供し、食べやすく、食べこぼしを少なくし、食事を自力で摂取しやすいようにした。
- 行事食の実施

9月 秋祭り	おにぎり 焼きビーフン 切干し大根サラダ 豚汁
10月 親子ふれあいの日	松茸ごはん
12月 もちつき会	黄粉もち ぜんざい
12月 クリスマス会	チキンライス もみの木ハンバーグ オニオンリング フライドポテト オレンジ ブロッコリーピーナツ和え マカロニサラダ 法蓮草のソテーオムレツ ミニトマト
3月 卒業お祝い会	お寿司（巻寿司、いなり寿司）豚カツ、ブロッコリーの胡麻和え 厚焼きたまご 菜の花のお浸し ポテトサラダ 大学いも 筑前煮 苺

- おやつを提供
平日は牛乳（苦手な児童にはヨーグルトで対応）とお菓子、休日、祝日はヨーグルト又はプリン、季節によってアイスクリーム、氷菓子等も提供した。今後は手作りおやつ（プリン、フルーツポンチ等）や季節のおやつも提供していく。

5. 日中一時支援

登校前と下校後、毎日2～3名の利用、休日は1～2名の利用があった。

6. 療育支援

町内関連機関に事業説明2件の利用あり 保護者からの相談、関係機関の情報提供を行う。

Ⅳ障がい者支援施設 くるみ邑美園

1. 施設の事業内容

- ①生活介護事業
- ②施設入所支援事業

2. 利用者状況

現員：平成 29 年 3 月 31 日現在

人 員		年 齢 別 利 用 者 数				平均年齢
		20~29	30~39	40~49	50~59	
施設入所 71 名	男 53	7	14	26	6	39
	女 18	2	1	13	2	40
通所利用 2 名	男 1			1		41
	女 1	1				22

※：退所利用者 男性 3 名 女性 2 名

3. 生活支援

個別支援サービス計画に基づき利用者一人一人の人権を尊重し利用者の生活能力の維持、向上を目指し生活支援を行った。利用者の特性に応じて棟を 4 つに分け個別支援充実に取り組んだ。

(1) あすなろ棟（男性 28 名） やよい棟（女性 11 名）

- ・統一支援を心掛けミーティング時利用者状況について随時話し合いを行った。
利用者同志のトラブル、不安定になる時間帯、季節など利用者の見守りに配慮した。
歯周病、歯肉炎の利用者が増え歯の維持の為に 1 月から口腔ケアの時間を設けブラッシングを中心に取り組んだ。
- ①個別支援計画に基づいた支援
個々のニーズ、課題について担当を中心に棟内で統一した支援を行った。
個別支援（買い物支援、ウォーキング）についてミーティング時利用者状況について話し合いを行いながら棟全体で対応した。
- ②衛生、生活環境の整備
居室ボックスの修繕、プライバシー保護、破損時の飛散防止の為にリビング、居室の窓ガラスにフィルムを貼り、居室環境を整えた。
トイレの床を乾式床とし、衛生面の改善を行った。
- ③感染症の防止
インフルエンザ、ノロウイルスに日頃から関心を持ち、毎食前の手洗いを徹底した。
感染の時期は医療と連携し、日中、夜間に消毒や加湿を行い今年度の発症者はいなかった。

(2) 千鳥棟（重度障がい 男性 8 名 女性 4 名）

- ・6月に居室棟を変更した。変更後睡眠の乱れや不安定な様子が伺えたが半年を過ぎた頃から落ち着いた生活を送られるようになってきた。
- ①個別支援計画に基づいた支援
機能訓練、買い物支援、余暇支援等計画に基づき個々の支援に取り組み事が出来た。
- ②衛生、生活環境の整備
衛生面に気を配り、リビング、廊下、トイレは毎日 2 回の掃除を継続した。
食事時はエプロン、手袋の着用を励行した。
- ③感染症防止
日頃から関心を持ち、早めに医務と連携し、消毒、加湿を行った。支援員が外部から持ち込まないようマスクの着用を心掛け、今年度発症はなかった。

(3) ひまわり棟（自閉症、自閉傾向 男性 17名）

・自閉症、自閉傾向利用者の生活の場とし、安定した生活を過ごしてもらう為に健康管理や課題作業の充実に取り組んだ。

①個別支援計画に基づいた支援

個別計画に対し担当を中心として個々に取り組んだ。

②生活環境の整備

棟内の破損箇所は速やかに修繕を行い拘りの強い利用者の対応を行った。

生活の場と活動の場を分け生活にメリハリをつけた。

休日余暇支援として土曜日午後よりドライブを行い、気分転換をする事で安定した生活が出来た。

③衛生・感染症の防止

棟内の定期的な消毒、加湿を行い感染症予防に努めた。2月上旬インフルエンザ（A型）発症が5名あったが拡大防止に努め棟内で終息した。

3. 日中活動

それぞれの班において活動計画を立て利用者個々に合った日中活動を行った。

働く事や作業する事の意欲を持ち、充実した時間を提供する事で落ち着いた生活が送れるよう支援した。

(1) 農園芸活動班

★配合土作り及び製品作り、燻炭製品作り。

（納品先、香木の森、雲井の里、四ツ葉の里直売所、その他注文に応じ納品）

昨年に続き配合土（一般への配達販売）の注文が減少している。（前年比¥40,000 減）配合土の販売が主流である為今後販路の拡大が必要。

★ハウス、畑での野菜栽培、収穫、販売。

（サニーレタス、ネギ、ニラ、二十日大根、黒豆、玉ねぎ、チンゲン菜、高菜、ささげ豆、インゲン豆、ミニトマト、ターサイ、春菊、なすび、かぼちゃ、白菜、サツマイモ）

昨年作ったハウスに土を足していった結果、昨年度より土の量が増え昨年度出来なかった野菜を栽培する事が出来た。

★椎茸（植菌、立て直し、伏せ込み）、平茸、なめこ（菌床）栽培、収穫、販売。

★ブルーベリーの収穫、販売、加工。

(2) 訓練活動

★訓練活動班

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	自主活動 洗濯活動 口腔ケア	自主活動 洗濯活動 口腔ケア	自主活動 洗濯活動 口腔ケア	自主活動 洗濯活動 口腔ケア	自主活動 洗濯活動 口腔ケア
午後	自主活動 洗濯活動	自主活動 洗濯活動	自主活動 洗濯活動 第4音楽療法	運動の日	自主活動 洗濯活動

★自主活動：ちり紙折り、牛乳パック切り、花台磨き、玉通し、油とりっ子ちゃん（布切り、袋詰め）、ウォーキングなどの機能訓練を行う。

★洗濯活動：洗濯、たたみ、洗濯物仕分け、配達、洗濯場掃除を行う。

※個々の能力に応じた内容で落ち着いて活動が出来ている。運動不足解消の為、週1回運動の日を設け簡単な体操やウォーキングを行った。

(3) リサイクル活動班

★缶作業……空き缶収集、収集の手伝い、空き缶の選別、プルタブ取り、空き缶のプレス作業出荷。

★地域美化活動……空き缶集め、ゴミ拾い

★体力づくり……園内外のウォーキング、ラジオ体操

※各工程に分かれ落ち着いて活動する事が出来た。自閉症利用者で、日程や内容変更の為不安定になる事があったので、日課の組み立て、活動内容の伝え方等工夫する。

(4) ステップ班活動

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	個別活動 第1運動の日	ウォーキング 個別活動自主活動	ウォーキング 個別活動 第3週クラブ活動	ウォーキング 個別活動	ウォーキング 個別活動
午後	入浴 余暇活動	入浴 余暇活動自主活動 第2.4週自立支援	入浴 余暇活動 第3週環境整備	入浴 余暇活動 第1週音楽療法	入浴 余暇活動

※体力作りとして園外、棟内、体育館での運動、ウォーキングを行った。

手先の機能訓練としてちり紙折り、パズル、ビーズ通し、洗濯畳み等個々の能力に合わせて実施した。

(5) アート班活動

★月、週で活動計画をたて、それを基に実施した。個別課題作業、体力作りを主として利用者が安定して過ごせるよう環境作りをした。

(6) 社会参加活動（各班共通）

★自立支援活動：月1回（アート班、ステップ班については月2回）

公共施設の利用、マナーの習得、外食や生活訓練を行った。

拘りの強い利用者に対して個々の支援が必要だった。場所や時間の変更のある場合は事前に知らせパニックに繋がる事のないように努めた。

(7) 音楽療法・ミュージックケア…（各班共通）

★外部講師を招き音楽に合わせ簡単な身体運動、楽器演奏を行った。言葉が話せない利用者も楽器を使用し支援員とコミュニケーションを取り楽しんでいた。

(8) クラブ活動

月1回

クラブ名	活 動 内 容
ものづくり	紙粘土、自然物を使った小物等製作活動を行い棟内に飾った。
茶道	落ち着いた雰囲気の中で、楽しくお茶を頂く作法を学んだ。
ウォーキング	邑南町内でのウォーキングを行った。雨天は体育館で実施した
クッキング	季節の料理や、利用者の希望に沿いメニューを組み立て調理した。
カラオケ	知っている歌を決めて全員で口ずさみ身体を動かした。
スポーツ	わかりやすいルールでのスポーツを行い、体を動かして楽しんだ
リラクゼーション	癒しの音楽を流し、アロマセラピー、足浴、マッサージを行った。

4. 保健衛生

(1) 健康診断の実施

○内科検診（年2回） ○尿検査（年1回）

○結核検診（年1回） ○貧血検査（年1回）

○心電図検査（年1回） ○血液検査（年1回）

①内科検診

前期（H28/6/20・6/27）	後期（H29/2/13・2/20）
75名	73名

①各種検診結果

・検診結果内訳

検査実施日:胸部 XP H28/4/28 血液検査日: H28/5/28

	胸部 X線	貧血 検査	肝機能	血中 脂質	尿 検 査			心電図	血糖	WBC	腎機能	尿酸
					糖	蛋白	潜血					
実施者数	72	75	75	75	75	75	75	73	75	75	75	75
有所見者週	4	9	23	16		1	6	17	11	1	8	3
医師 の 指示	要医療者数											
	要精検者数	4	1	9			4	4	3		4	
	要観察者数		8	14	16		1	2	12	8	1	4
	治療継続者		2	1	2							2

※要精検者については順次受診し、精検項目によっては嘱託医や精神科主治医に相談し結果フォローを実施した。

・歯科検診内訳

検査実施日:H28/7/11 検診者数:75名

治療の必要のない人数	要 観 察 者 数	要 治 療 者 数			
13	33	29			
		虫歯	歯肉炎	歯垢	歯石
		24	3	2	21

※前年度より歯肉炎、虫歯の利用者が増えた。

検診後受診者 23 名 (内、治療終了 1 名 中断 4 名、他現在治療継続中)

②受診者状況 (服薬治療者)

西川病院	こころの医療 センター	西部島根医療 福祉センター	公立邑智病院	大隅医院
56	0	0	4	19

- ・西川病院 精神科診察月 2 回
脳波検査 14 名
採血 3ヶ月毎実施

4/19・5/11	7/13・27	10/26・11/9	1/26・2/2
55	55	53	52

- ・邑智病院 定期受診 月 1 回 又は 2~3ヶ月 1 回
血液検査実施者 (3 名)
- ・大隅医院 血液検査実施者 (9 名) 利用者の高齢化もあり嘱託医への定期受診に加え血圧、貧血等の内服者が増加した。
インフルエンザ予防注射 H28.11・28: 実施者 74 名

- ・不定期受診者
発熱、怪我、皮膚疾患等症状に応じた受診

5. 栄養管理

- (1) 生活状況・年齢・性別に応じ個別に栄養量を算出し、加重平均栄養量に基づいて献立作成した

・平均栄養摂取量

エネルギー	2,113Kcal	鉄	11.1mg
たんぱく質	79.6g	レチノール当量	869 μ g
脂質	58.0g	ビタミンB1	1.29mg
炭水化物	314.9g	ビタミンB2	1.23mg
カルシウム	750mg	ビタミンC	101mg
食物繊維	18.0g		

・年齢、生活活動に幅があるので個人エネルギー摂取量については主食・副食の量で調整した。

主食：350g 300g 250g 200g 150g 150g

副食：中盛り 小盛り

(2) 治療食の実施

・糖尿病食（1,280Kcal、蛋白質 60g、脂質 30g、炭水化物 175g）：1名

※提供により服薬無しで血糖値を安定させる事が出来た。

・エネルギー制限食（1,800Kcal）：1名（2,000Kcal）1名

(3) 刻み食の対応

・一口大（3.0~4.0cm）：6名

・中刻み（1.5~2.0cm）：10名

・小刻み（0.5~1.0cm）：2名

・極小刻み（みじん切り）：4名

・ペースト 1名

※年齢による活動量の低下や咀嚼の有無、歯の状態の悪化により普通食をそのまま食べられない利用者が増えているので、料理の内容や食事形態を見直し安全に食べてもらうよう配慮した。今年度誤嚥性肺炎によりペースト食の利用者があり、普段の食事や行事食を工夫した。

(4) 代替え食の対応

・アレルギーや嫌いな食材は献立や材料を変更して提供した。又偏食の激しい人には、食材や調理方法を変更して提供した。

(5) 自助食器の利用

・自助食器、両手マグカップ、マグカップ、スプーン、フォークを使用し、食べやすく、また食べこぼしを少なくし、食事を自力で摂取しやすいようにした。

(6) 行事食の実施

9月 秋祭り	おにぎり 焼きビーフン 切干し大根サラダ 豚汁
10月 親子ふれあいの日	松茸ごはん
12月 もちつき会	黄粉もち ぜんざい
12月 クリスマス会	チキンライス もみの木ハンバーグ オニオンリング フライドポテト オレンジ ブロッコリーピーナツ和え マカロニサラダ 法蓮草のソテー オムレツ ミニトマト

(7) 嗜好調査の実施

・1月に今まで提供した料理の写真を参考に、本人記入又は、支援員による聞き取り調査を実施し、希望の多いメニューから随時献立に取り入れ、また今後の参考にした。

(8) 衛生管理

・検便：1回/月

・厨房内の機械、器具類の掃除、洗浄 1回/月

・厨房内の床、溝掃除 1回/月（環境整備の日）

6. 行事、自治会活動

4月12日	花見会
4月29日	祈幸会総会
6月23日	自治会総会 自治会役員選出
7月 7日	自治会役員会 自治会行事について
7月28日	カラオケ大会
8月 4日	四ツ葉の里夏まつり
9月16日	秋祭り
10月22日	自治会ミニ喫茶
10月24日	親子ふれあいの日
11月24日	神楽鑑賞会
12月 2日	餅つき会
12月13日	クリスマス会
2月23日	自治会ミニ喫茶
3月 2日	自治会反省会
3月10日	年度末反省会

7. 委員会

(1) 防火防災

・避難訓練

実施日	実施時間	出火場所	備 考
4/28	9:00~9:30	管理棟	利用者・職員へ事前連絡なし
5/31	9:00~9:20	調理場	利用者・職員へ事前連絡なし
6/23	9:00~9:20	管理棟	利用者・職員へ事前連絡なし
7/27	9:00~9:20	調理場	利用者・職員へ事前連絡なし
8/30	9:00~9:20	医務室	利用者・職員へ事前連絡なし
9/26	9:00~9:20	管理棟	利用者・職員へ事前連絡なし
10/27	9:00~9:20	調理場	夜間想定
11/29	9:00~9:20	医務室	利用者・職員へ事前連絡なし
12/19	9:00~9:20	厨房	利用者・職員へ事前連絡なし
1/31	9:00~9:20	洗濯場	利用者・職員へ事前連絡なし
2/27	9:00~9:20	医務室	利用者・職員へ事前連絡なし
3/13	9:00~9:20	調理場	利用者・職員へ事前連絡なし

- ・自主検査/備品確認 10月、3月に実施
- ・消防設備等点検 H28.9.26~9.27・H29.2.24~2.25 実施
- ・非常食の確認 3月に実施 100食×3日分備蓄
- ・利用者の避難状況 自立歩行85名、車椅子、歩行器3名

(2) 職員研修

・施設訪問研修

日 時	施 設 名
1班 平成28年 7月21日	鳥取県西伯郡 社会福祉法人 祥和会 障害者支援施設 「祥福園」
2班 平成28年 8月26日	広島市佐伯区 社会福祉法人三条会重症児、者福祉医療施設 「鈴が峰」
3班 平成28年 9月 9日	山口県萩市 社会福祉法人ふたば園 萩市障害者支援施設 「さんみ園」
4班 平成28年 9月11日	広島県安芸区 社会福祉法人柏学園福祉型障害児入所施設 「瀬野川学園」
5班 平成28年10月14日	福山市 社会福祉法人創樹会「ONE—すてっぷ」放課後等デイサービス
6班 平成28年10月27日	山口県光市 社会福祉法人 ひかり苑 障害者支援施設 「ひかり苑」
7班 平成28年11月 4日	倉敷市 社会福祉法人ひまわりの会ライフステーション 「ひまわり」

・園内研修

【邑南町出前講座 高齢者の健康管理】

日時：平成29年2月17日 研修時間 15:30~16:30

講師：邑南町保健課 保健師 坂本 昌子

【虐待防止研修】

毎月職員会議内で障害者に対する人権意識の向上や虐待防止について、委員による勉強会を行った。

(3) 保育、職場実習

- ・大学や短期大学より保育や福祉を学ぶ学生の実習依頼を受けて実施。

期 間		人数	学 校 名
10/17~10/21	5日	1名	島根大学 (1年生)
2/28 ~ 3/9	10日	3名	広島文化短期大学(1年生)

※宿泊施設として、交流ホームを利用。

(4) 環境整備

- ・毎月第3水曜日実施

園周り…草刈、草取り、除草剤散布、棟内の清掃、葦簀の設置、笹畑ゴミ出し、雑木の伐採
季節の花植え等

園 内…エアコンフィルター掃除(随時)、各棟窓ガラス、サッシ掃除、ゴミ出し等

(5) レクリエーション

①障害者スポーツ大会の参加

- ・第17回島根県障害者スポーツ大会 フライングディスク競技会(大田市民球場)

平成28年 6月 4日(土) 参加3名

- ・第16回島根県障害者スポーツ大会 ボウリング競技会(ボウリングジャック)

平成28年 5月29日(日) 参加2名

②親子ふれあいの日 ミニ運動会開催、運営

平成28年10月24日(土)

③運動の日 月1回 第1週の月曜日(10:30~11:30)

体力維持、運動不足の解消、気分転換をねらいとし、体操、ウォーキング等の活動を取り入れた。

④ミュージックケアの補助

(6) 広報誌「たんぼぼ」

①年3回、4ヶ月に1度の作成と発行を行う。

- ・289号(平成28年5月20日発行)

保護者及び関係機関分171通 発送

- ・290号(平成28年9月20日発行)

保護者及び関係機関分172通 発送

- ・291号(平成29年 2月6日発行)

保護者及び関係機関分170通 発送

(7) ボランティア (矢上高校・ふあいん倶楽部・くるみOB・社協ボランティア登録会員等)

①年間を通して、各ボランティア団体による余暇活動、作業、付添い等をしていただいた。

又矢上高校(2年生)は交流学習として各班での作業体験をしてもらった。また、多くのボランティアにご協力を得て地域との関わりが持てた。特に、町内のボランティア団体ふあいん倶楽部による活動は、毎月1回花壇整備等中心に活動していただいた。食堂に季節の装飾をし参加しない利用者達も関心を持つ事が出来た。

8. 各会議状況

運営会議	毎月1回開催	職員会議	毎月1回開催
支援サービス会議	毎月1回開催	ケース会議	随時
虐待防止・権利擁護委員会	毎月1回開催	QOL検討委員会	毎月1回開催
保健給食会議	毎月1回開催	衛生委員会	毎月1回開催

9. 祈幸会（家族会）

日時	行事名	参加者数
4月29日（金）	くるみ祈幸会代議員会、総会	40家族 55名
5月24日（日）	益田・吉賀地区保護者会	7家族 9名
6月12日（日）	出雲・中央地区保護者会	4家族 7名
6月26日（日）	邑智・北広島地区保護者会	12家族 14名
7月 3日（日）	浜田・江津地区保護者会	17家族 25名
7月18日（土）	保護者と職員との懇親会	保護者 11名
8月 4日（木）	四ツ葉の里夏まつり	
9月19日（日）	日帰り親子旅行（木下大サーカス）：広島市	21家族 27名
10月 3日（日）～4日（月）	一泊親子旅行（砂の美術館他）：鳥取市	11家族 14名
10月22日（土）	くるみ祈幸会代議員会・親子ふれあいの日	40家族 65名
11月～12月	親子旅行不参加者食事会（各棟対応）	
3月10日（木）	年度末反省会・卒業お祝い会	

10. 苦情解決状況

(1) 第三者委員への報告…年2回 10月6日・3月13日 相談者無し

(2) 苦情受付の現状

※文字や言葉での伝達が困難な利用者が多いので、できるだけ職員が利用者の気持ちを表情や行動から汲み取るよう努めている。地区ごとの保護者会や自治会などで要望等伺う機会を設け速やかな対応、解決に努めた。

(3) 苦情・相談申出者件数（苦情・投書箱における要望等含）

H28年3月1日～H29年2月29日

	苦情	要望・相談	計
くるみ邑美園	1	3	4
くるみ邑美園児童部	1	1	2
放課後デイみんと	0	0	0
合計	2	4	6

※利用者からの苦情よりも保護者からの要望、苦情が多い。問題が起きた時だけでなく日頃から保護者に利用者の近況を伝え連携を取っていく。児童部、みんとについては学校児童相談所とも連絡を密にしていく事が必要である。

保護者の不安が募り、それが苦情に繋がっていく傾向がみられるので、いつでも施設へ訪問し相談等が出来る環境作りを行った。

1. 日 課

学 校 休 校 日		通 常 日	
時 間	日 課	時 間	日 課
9:00	通所	14:00	通所、うがい手洗い、健康観察、排泄
9:30	健康観察、排泄	15:00	おやつ
10:00	ラジオ体操、歌	16:00	個別支援

2. 利用児童の状況

○契約児童 13 名

- ・平日（月～金）は学校下校後に、石見養護学校生が7名前後の利用あり。
- ・学校休校時や長期休み時には、石見養護学校生の他に邑智郡内の特別支援学級に在籍している児童が6名前後利用している。

3. 個別支援計画に沿って行う発達支援

- ・子どもの発達過程や特性を理解した上で、一人ひとりの状況に応じた個別支援計画を作成し、その計画書に沿って支援を行った。
- ・季節に合った活動を行うように心がけ、自然との触れ合いを大切にした。

4. 保護者との連携

- ・保護者が迎えの際にはその日の利用児童の様子のみを伝えるのではなく、家での様子や日々の変化等を話しながら情報の共有を行った。スクールバスを利用している利用児童の保護者に向けては連絡帳を利用してその日の様子を記し、お知らせした。必要時や緊急時には、その都度電話を行い情報漏れがないように努めた。

5. 学校との会議

- ・石見養護学校…個別情報交換会（年1、2回）
- ・高原小学校…情報交換会（年1回）
- ・各相談支援事業所、はーとふるみずほ
- ・学校との情報交換会を通し、統一支援を提供することが出来た。保護者からの要望も確認し合う事が出来た。

6. 行事

- ・定期的に行事会を開催（節分、ひなまつり、花見会、七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス等）
- ・月に1～2度、季節に合わせた手作りおやつの日を設ける（ホットドック、ホットケーキ、かき氷、おにぎり、もち等）
- ・長期休暇時には、園外活動を行った（土師ダム、又マジ交通ミュージアム、金城ライディングパーク、物部神社）

7. 情報公開

- ・「みんと通信」の発行。
年間5回新聞を製作、発行する。保護者、石見養護学校、相談支援事業所、役場等の関係機関に送付。
- ・長期休暇前には長期休暇時の行事のお知らせを保護者に向けて配布。